

「ずっと住みたい 緑にあふれた  
キラキラ光る元気なまち」を目指して

# 平成29年度施政方針（抜粋）



町長 大島 清

昨年の5月に私が町長に就任いたしましたから、早くも9か月が過ぎました。職責の重大さを日々感じながら多くの皆様のご指導やご協力のもと、「ずっと住みたい緑にあふれたキラキラ光る元気なまち」の実現に向け、町政運営に取り組んでまいりました。

就任以来、公約に掲げ今日まで取り組んできた主な施策につきましては、丸の内地区にある町名の由来となった伊奈氏の屋敷跡を観光資源として活かすまちづくりを進めるため、国の交付金を活用して実施する「平成の町普請！伊奈備前守忠次公によるまちづくり」に着手し、町内関係各団体等と町が構成するプロジェクトチームを立ち上げました。

また、一人暮らしやお年寄り世帯を地域の皆様で支える「お年寄り世帯見守りたい事業」も開始いたしました。現在300名を超える方々が見守りたい員に登録いただいております。今後も全町内に広めてまいりたいと存じます。

さらに、社会経済情勢の変化および喫緊の課題に着実に対応し、将来にわたり持続可能な町政を実現するため、有識者をメンバーとする行財政改革推進会議を立ち上げました。年4回程度会議を実施し、私の諮問事項をご審議していただきます。

1月から2月にかけて3回実施いたしました町長タウンミーティングにつきましては、大勢の皆様にご参加いただき、直接貴重なご意見を伺うことができ、大変参考になりました。町民の皆様の声をお聞きすることは大事であり、これからの行政にとって、とても大切なことだと思っております。町民の皆様から頂いたご意見や

ご提案を尊重し、今後町政に活かしてまいります。

そのほか圏央道「桶川・加納インターチェンジ」から伊奈町方面へ向かう道路がわかりづらい状況であったため、その改善を私が国に直接要望いたしました。この結果、インターチェンジ出口分岐点に伊奈方面の案内板が設置されたところでございます。



新たに設置された伊奈方面の案内板

学校関係では、要望の多かった町内小中学校トイレの洋式化をすでに一部で実施いたしました。今後も順次進めてまいります。

また、各課のカウンターに

職員の配置表を設置したほか、町の職員に対し、伊奈町職員としての規範を示すとともに、職員の健康管理に配慮し、ノー残業デーを増やすなど業務効率化について働きかけ、時間外勤務の縮減にも努めてまいりました。

これからも未来の担い手である子どもたちのためにも、町の将来のあるべき姿を見据え、何を求められ何をなすべきかを確に把握し、伊奈町の緑豊かな環境を守り・育てながら、私の公約である「福祉の充実と健康長寿のまちづくり」「教育の充実とスポーツ振興で豊かなまちづくり」「産業振興で元気いっぱい」「まちづくり」「町民に優しく防災に強い開かれたまちづくり」「緑と自然を生かしたまちづくり」の5つを重点施策とし、「新生・伊奈町」の創造に向けて、各種施策に全力で取り組んでまいります。引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

伊奈町総合振興計画に基づき平成29年度実施予定の事業

①安心・安全なまちに暮らす  
「地域防災力の向上」では、共助を目的とした住民参加型の防災訓練を行い、町民の防災意識の向上を図ってまいります。



防災訓練

また、「消防・救急体制の充実」では、上尾市との消防広域化に向けた協議をさらに進めてまいります。

「地域防犯体制の充実」では、全ての町防犯灯を蛍光灯から安定した明るさが維持できるLED灯に交換し防犯環境の向上を図るとともに、環境にも配慮した省エネルギー化を図ってまいります。

②健康で心安らぐまちに暮らす  
「生涯を通じた健康づくり」

では、胃がんリスクの早期発見、早期治療につなげるために平成26年度から実施しているペプシノゲン法に加え、今年度からピロリ菌抗体価検査も同時実施してまいります。

また、各地区に出向き健康に関する体操などの実技を含めた講座を行う健康長寿教室や「毎日1万歩運動」を引き続き実施するなど、町民の健康と体力の保持・増進を図り健康長寿を推進してまいります。

「高齢者サービスの充実」では、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進めてまいります。新しい介護予防と多様な介護サービスを提供する総合事業をスタートいたします。また、医療・介護連携や生活支援体制整備などの包括的事業を進めてまいります。

「障害者の生活・自立支援」では、障がい者が安心して暮らせる環境づくりを目指し、障害者差別解消法の普及を進め、身体および知的障害者相談員をそれぞれ1名ずつ委嘱し、相談支援の充実を図ってまいります。また、手話の理解を深めるため「手話言語条例」の制定を進めてまいります。

### ③豊かな心を育むまちに暮らす

「子ども・子育て支援の充実」では、国民健康保険の出産育児一時金を、第2子以降の出産については現行の42万円から8万円を上乗せし50万円といたします。併せて、子ども医療費の支給対象年齢を現行の中学校3年から高校3年生までといたします。さらに、児童クラブを3か所増設し合計16か所とするなど子育て支援を充実し、日本一子育てしやすいまちを目指してまいります。



児童クラブ

教育関係では、次期学習指導要領の改訂への対応とセキュリティ関係強化のために、小中学校の児童、生徒および教職員用のパソコン機器類を入れ替えます。また、小針中学校においては生徒数の

増加に対応するため、教室を増設し、教育環境の一層の充実を図ってまいります。

加えて、各種学力調査を実施し、学力向上のための課題を把握することで学力県下ナンバーワンを目指します。

### ④緑あふれる、にぎわいのあまるまちに暮らす

「緑の快適空間づくり」では、ニューシャトル内宿駅前ロータリーに町の花である「バラ」を植栽し、「バラの町」を演出してまいります。また、緑のトラスト保全第13号地では、桜並木を次の世代に継承していくため、樹齢70年を超える桜の後継樹を植栽し、育成してまいります。



緑のトラスト保全第13号地

さらに、町政施行記念公園内のあやめ園跡を多目的広場として整備するとともに、中部公園の早期完成を目指して

まいります。

「利便性の高い公共交通」

では、伊奈中央駅バリアフリー化に向け、エレベーターを設置するための詳細設計を実施いたします。

「地域特性を活かした都市農業の振興」では、老朽化した水路の計画的な改修を進めるとともに、町の農地と農業を守るため新規就農者をはじめとした、担い手の育成支援に積極的に取り組んでまいります。

「まちのにぎわいを創る事業活動の活性化」では、関係団体と協力して「BUYいな」運動を推進し、町内産業の活性化を図ってまいります。

「地域資源を活かした観光振興」では、伊奈氏屋敷跡の保存活用を図るための保存活用計画を策定しながら、丸の内地区において、引き続き散策路整備を進め、忠次公関連イベントを行う等、新たな観光スポットづくりを進めてまいります。

### ⑤町民と行政が協働するまちに暮らす

「町民参画と情報共有化の推進」では、町長タウンミーティングを定期的に開催し、私が直接町民の皆様から町へのご意見やご提言を伺い、今

後の町政運営に活かしてまいります。



町長タウンミーティング

「経営的視点に立った行政運営、計画的な財政運営」では、新しく設置した行政改革推進会議等を活かして、計画的で効率性の高い行政運営を行ってまいります。

「人権尊重・男女共同参画の推進」では、すべての町民がお互いの人権を尊重しながら共に生きる社会をめざし、人権教育・啓発活動に努めてまいります。

予算編成方針  
および  
予算の概要は  
次のページへ